

項目		説明
試料・情報の利 用目的 及び 利用方法	研究課題名	原発性肺癌切除後の初回再発部位と再発後の予後との関連性検討
	研究目的	原発性肺癌は世界の死亡の原因の大きな要因の一つです。そして原発性肺癌の外科切除後の再発は、患者の長期予後を妨げる最大の原因であることが知られております。しかし、どのような因子が再発後の患者さん予後に影響しているかは、依然不明な点が多いです。特に再発した臓器の部位が、再発した後の患者さんの予後とどのような関連性があるかを解析した研究はほとんどありません。今回我々は原発性肺癌術後にどのような臓器に再発を来すと、再発後の患者さんの予後に影響するのかを解析いたします。
	研究対象者	2006/1-2018/12 に原発性肺癌に対して根治切除後（術前治療症例は除く）の方で、術後に再発を来した患者さん。
	研究期間	西暦 2020 年 7 月 6 日 ~ 西暦 2022 年 3 月 31 日
利用する試料・情報の項目 （チェック[X]が入った項目を利用します）	<input type="checkbox"/> 血液 <input type="checkbox"/> だ液 <input checked="" type="checkbox"/> 臨床検査データ <input type="checkbox"/> 病理組織 <input type="checkbox"/> 排泄物（尿・便） <input type="checkbox"/> その他（記載して下さい） <input type="checkbox"/> 毛髪 <input checked="" type="checkbox"/> 診療記録	
試料・情報の 管理について の責任者	当センター 研究責任者	伊坂哲哉
試料・ 情報を 利用す る者の 範囲	当センターでの実施診療科/部局等	呼吸器外科
	共同研究の場合、共同研究機関および各施設での研究責任者	無し